

1号機

- 1号機の原子炉格納容器の水位については、今後の水中 ROV による調査の準備として、原子炉への注水量を以下のとおり増加させる。

また、調査終了後には準備が整い次第、原子炉への注水量を以下のとおり減少させる。

(1月8日の原子炉注水量変更予定:4.0 m³/h→6.0 m³/h)

(調査終了後の原子炉注水量変更予定:6.0 m³/h→4.0 m³/h)

引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。

- 1号機の原子炉注水設備においては、1月8日13時46分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(1月8日の原子炉注水量変更:4.0 m³/h→6.0 m³/h)

- 1号機の原子炉注水設備においては、水中 ROV による調査終了後に原子炉注水量を変更する

予定だったが、水中 ROV の装置不具合に鑑み、調査を一時中断することとした。これに伴い、

- 1月13日午後2時33分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(1月13日の原子炉注水量変更:6.0 m³/h→4.0 m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。

- 1号機の原子炉格納容器の水位については、今後の水中 ROV による調査再開の準備として、原子炉への注水量を以下のとおり増加させる。

また、調査終了後には準備が整い次第、原子炉への注水量を以下のとおり減少させる。

(1月27日の原子炉注水量変更予定:4.0 m³/h→6.0 m³/h)

(調査終了後の原子炉注水量変更予定:6.0 m³/h→4.0 m³/h)

引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。

- 1号機の原子炉注水設備においては、今後の水中 ROV による調査再開の準備に伴い、1月27日午前11時35分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(1月27日の原子炉注水量変更:4.0 m³/h→6.0 m³/h)

- 1号機の原子炉注水設備においては、水中 ROV による調査終了に伴い、2月1日午後3時56分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(2月1日の原子炉注水量変更:6.0 m³/h→4.0 m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。

- 1号機の原子炉格納容器の水位については、今後の水中 ROV による調査の準備として、原子炉への注水量を以下のとおり増加させる。

また、調査終了後には準備が整い次第、原子炉への注水量を以下のとおり減少させる。

(2月6日の原子炉注水量変更予定:4.0 m³/h→6.0 m³/h)

(調査終了後の原子炉注水量変更予定:6.0 m³/h→4.0 m³/h)

引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。

- 1号機の原子炉注水設備においては、今後の水中 ROV による調査の準備に伴い、2月6日午後2時55分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(2月6日の原子炉注水量変更:4.0 m³/h→6.0 m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。

- 1号機の原子炉格納容器の水位については、今後の水中 ROV による調査の準備として、原子炉への注水量を以下のとおり増加させる。

また、調査終了後には準備が整い次第、原子炉への注水量を以下のとおり減少させる。

(2月28日の原子炉注水量変更予定:4.0 m³/h→6.0 m³/h)

(調査終了後の原子炉注水量変更予定:6.0 m³/h→4.0 m³/h)

2月28日午前10時35分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(2月28日の原子炉注水量変更:4.0 m³/h→6.0 m³/h)

引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。

3月8日午後4時5分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(3月8日の原子炉注水量変更:6.0 m³/h→4.0 m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。

- 1号機の原子炉注水設備において、流量調整弁取替後の注水試験を行うため、下記の予定で原子炉注水量の変更を行う。

なお、注水試験中に原子炉格納容器の水位が想定した水位に到達した場合は、予定よりも早く原子炉注水量を変更させる場合がある。

(3月14日の原子炉注水量変更予定:4.0 m³/h→3.0 m³/h)

(3月15日の原子炉注水量変更予定:3.0 m³/h→4.0 m³/h)

試験に伴い、一時的に3.0 m³/h～5.0 m³/hの範囲で原子炉注水量の変更を行う。

3月14日午前10時45分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(3月14日の原子炉注水量変更:4.0 m³/h→3.0 m³/h)

3月15日午後0時55分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(3月15日の原子炉注水量変更:3.0 m³/h→4.0 m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。

- 1号機の原子炉格納容器の水位については、今後の水中 ROV による調査の準備として、原子炉への注水量を以下のとおり増加させる。

また、調査終了後には準備が整い次第、原子炉への注水量を以下のとおり減少させる。

(3月24日の原子炉注水量変更予定:4.0 m³/h→6.0 m³/h)

(調査終了後の原子炉注水量変更予定:6.0 m³/h→4.0 m³/h)

3月24日午前10時33分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(3月24日の原子炉注水量変更:4.0 m³/h→6.0 m³/h)

- 1号機の原子炉注水設備においては、水中 ROV による調査に伴い、原子炉への注水量を6.0 m³/hに増加させているところだが、ROV でペDESTAL内から上部を確認したところ、原子炉注水と思われる多くの滴下があり、ROV のカメラによる映像確認が困難なため、原子炉注水による影響の緩和を目的に、本日3月30日、準備が整い次第、原子炉への注水量を以下のとおり一時停止する。ROV による上部の確認後に、注水量を6.0 m³/hに戻す。

なお、原子炉注水の停止時間は3時間程度を予定している。

(3月30日の原子炉注水量変更:6.0 m³/h→0.0 m³/h→6.0 m³/h)

引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。

- 1号機の原子炉注水設備においては、水中 ROV による調査終了に伴い、本日午後3時28分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(4月1日の原子炉注水量変更:6.0 m³/h→4.0 m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。

・1号機の原子炉注水設備においては、水中ROVによる調査終了に伴い、原子炉注水量を4.0 m³/hに減少させ、原子炉格納容器水位を調査時の水位から低下させていました。

その後、当該水位は安定傾向となりましたが、一方で地下水流入量の抑制による建屋滞留 水発生量の減少に伴い、原子炉注水に利用する淡水の生産量も減少していることから、淡水の使用を抑えるため、下記の通り注水量低減操作を行う。

(4月13日の原子炉注水量変更予定:4.0 m³/h→3.8 m³/h)

4月13日午前11時31分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(4月13日の原子炉注水量変更:4.0 m³/h→3.8 m³/h)

水位計および関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。

・6月8日午前4時4分頃、1号機原子炉格納容器ガス管理システムにおいて、核種分析装置A系の機器異常警報が発生したことから、関連パラメータを確認したところ、ドライウェル圧力、原子炉格納容器ガス管理システム排気流量、水素濃度、ダスト指示値等に変化がないことを確認したが、希ガスモニタA系の指示値がダウンスケールしていることから、午前5時5分に希ガスモニタA系の監視が出来ない状態と判断。

なお、希ガスモニタB系については、異常はなく希ガスの監視について支障がないことを確認。

1号機原子炉格納容器ガス管理システム核種分析装置A系の調査を実施した結果、希ガスモニタが故障していることを確認したことから、希ガスモニタA系の交換を実施した。

その後、希ガスモニタA系を起動し指示値に異常がないことを確認したことから、6月9日午前11時55分、監視可能な状態に復帰したものと判断。

・原子炉格納容器閉じ込め機能強化に向けて、今後の原子炉格納容器の運用管理や放射性ダスト放出抑制を検討するためのデータ採取を目的とした試験を、3つの期間(ステップ1～3)に分けて実施する。

ステップ1の試験に伴い、1号機の窒素封入量を以下のとおり変更する。

<1号機窒素封入量変更予定>

(11月1日)

窒素封入量:32Nm³/h→25±2Nm³/h

(11月6日)

窒素封入量:25Nm³/h→19±2Nm³/h

(11月8日)

窒素封入量:19Nm³/h→32Nm³/h

窒素封入量変更に伴い、原子炉格納容器内の温度上昇が想定されるため、特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子炉施設の保安」(以下、「実施計画」という。)第1編第18条で定められている運転上の制限「格納容器内温度が全体的に著しい温度上昇傾向がないこと」が満足出来ない状態となる可能性があることから、実施計画第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)を適用し、計画的に運転上の制限外に移行し、試験を実施する。

試験期間中においては、仮設ダストモニタによる放射性ダスト濃度監視を1時間に1回行う安全措置を定め、たうえで試験を実施する。

ステップ2およびステップ3については今後お知らせする。

<1号機窒素封入量/排気量の変更実績>

(11月1日午前10時47分)窒素封入量:30Nm³/h→25Nm³/h

排気量:18Nm³/h→25Nm³/h

関連パラメータについては、異常のないことを確認している。

引き続き、慎重に監視する。

・11月1日より、1号機原子炉格納容器閉じ込め機能強化に向けた試験(ステップ1)を実施していましたが、一部の原子炉格納容器内温度について、試験手順に定める判断基準の90℃に到達する見込みであることから、本日午前5時20分、試験手順に則り1号機窒素封入量および排気量を以下のとおり変更する。

<1号機窒素封入量/排気量変更>

窒素封入量:25Nm³/h→32Nm³/h

排気量:23Nm³/h→18Nm³/h

・当該温度は午前11時現在、78℃で上昇傾向が収まりつつあり、その他の関連パラメータについては、異常のないことを確認している。引き続き、慎重に監視する。

なお、今回必要なプラントデータが確認できたことから、当初予定していた11月6日および11月8日の窒素封入量の変更は実施せず、試験(ステップ1)については終了する。

ステップ2以降については今後お知らせする。

・当初、今後の試験(ステップ2、ステップ3)においても、実施計画第1編第32条(保全作業を実施する場合)第1項の適用を継続する予定だったが、ステップ1の試験が早期に終了にしたこと、および終了後のパラメータの安定を確認したことから、11月6日午後4時35分に実施計画第1編第32条(保全作業を実施する場合)第1項の適用を解除した。

なお、ステップ2、ステップ3の実実施計画第1編第32条(保全作業を実施する場合)第1項の適用については、再度お知らせする。

・1号機原子炉格納容器閉じ込め機能強化に向けて、今後の原子炉格納容器の運用管理や放射性ダスト放出抑制を検討するためのデータ採取を目的とした試験を、3つの期間(ステップ1～3)に分けて実施する。(ステップ1は実施済み)

ステップ2の試験に伴い、1号機の窒素封入量を以下のとおり変更する。

<1号機窒素封入量変更予定>

(11月13日)

窒素封入量:32Nm³/h→22±2Nm³/h

(11月20日)

窒素封入量:22Nm³/h→16±2Nm³/h

(11月22日)

窒素封入量:16Nm³/h→32Nm³/h

窒素封入量変更に伴い、原子炉格納容器内の温度上昇が想定されるため、特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子炉施設の保安」(以下、「実施計画」という。)第1編第18条で定められている運転上の制限「格納容器内温度が全体的に著しい温度上昇傾向がないこと」が満足出来ない状態となる可能性があることから、実施計画第1編第32条(保全作業を実施する場合)第1項を適用し、計画的に運転上の制限外に移行し、試験を実施する。

試験期間中においては、仮設ダストモニタによる放射性ダスト濃度監視を1時間に1回行う安全措置を定め、たうえで試験を実施する。

ステップ3については今後お知らせする。

<1号機窒素封入量/排気量の変更実績>

(11月13日午前10時21分)窒素封入量:32Nm³/h→22Nm³/h
排気量:18Nm³/h 変更なし

11月13日午後6時1分、1号機原子炉格納容器閉じ込め機能強化に向けた試験(ステップ2)において試験状態の維持を目的とした原子炉格納容器圧力調整のため、1号機窒素封入量を以下のとおり変更した。

<1号機窒素封入量/排気量の変更実績>

(11月13日午後6時1分)窒素封入量:22Nm³/h→24Nm³/h
排気量:18Nm³/h 変更なし

関連パラメータについては、異常のないことを確認している。

引き続き、慎重に監視する。

11月13日より、1号機原子炉格納容器閉じ込め機能強化に向けた試験(ステップ2)を実施していたが、一部の原子炉格納容器内温度について、試験手順に定める判断基準の90℃に近づいていることおよび必要なデータが採取できたことから、11月17日午前11時39分、試験手順に則り1号機窒素封入量を以下のとおり変更した。

<1号機窒素封入量/排気量の変更実績>

(11月17日午前11時39分)窒素封入量:24Nm³/h→32Nm³/h
排気量:18Nm³/h 変更なし

当該温度は11月17日午後2時現在、86.5℃で上昇傾向が収まりつつあり、その他の関連パラメータについては、異常のないことを確認している。引き続き、慎重に監視する。

なお、今回必要なプラントデータが確認できたことから、当初予定していた11月20日および11月22日の窒素封入量の変更は実施せず、試験(ステップ2)については終了する。

ステップ2の試験が早期に終了したこと、および終了後の関連パラメータに異常がないことから、11月20日午前9時21分に実施計画第1編第32条(保全作業を実施する場合)第1項の適用を解除した。

ステップ3以降については今後お知らせする。

・1号機原子炉格納容器閉じ込め機能強化に向けて、今後の原子炉格納容器の運用管理や放射性ダスト放出抑制を検討するためのデータ採取を目的とした試験を、3つの期間(ステップ1～3)に分けて実施する。(ステップ1、2は実施済み)

ステップ3の試験に伴い、1号機の窒素封入量を以下のとおり変更する。

<1号機窒素封入量変更予定>

(11月27日 停止時)
窒素封入量:32Nm³/h→0Nm³/h

(11月27日 復旧時)
窒素封入量:0Nm³/h→32Nm³/h

窒素封入量停止に伴い、特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子炉施設の保安」(以下、「実施計画」という。)第1編第25条で定めている運転上の制限「窒素ガス分離装置1台が運転中であること」が満足出来ないこと、および第1編第18条で定めている運転上の制限「格納容器内温度が全体的に著しい温度上昇傾向がないこと」が満足出来ない状態となる可能性があることから、実施計画第1編第32条(保全作業を実施する場合)第1項を適用し、計画的に運転上の制限外に移行し、

試験を実施する。

なお、試験期間中においては、第1編第25条については水素ガス濃度監視を1時間に1回行う安全措置を、第1編第18条については仮設ダストモニタによる放射性ダスト濃度監視を1時間に1回行う安全措置を定めたうえで試験を実施する。

<1号機窒素封入量変更実績>

(11月27日午後1時54分)窒素封入量:32Nm³/h→0Nm³/h
関連パラメータについては、異常のないことを確認している。

引き続き、慎重に監視する。

原子炉格納容器ガス管理設備酸素濃度が判断基準の3.0%に到達する見込みであることおよび必要なデータが採取できたことから、11月27日午後4時34分、1号機窒素封入量を以下のとおり変更した。

<1号機窒素封入量変更実績>

(11月27日午後4時34分)窒素封入量:0Nm³/h→32Nm³/h

1号機への窒素封入が再開されたことから、実施計画第1編第25条で定めている運転上の制限「窒素ガス分離装置1台が運転中であること」に対する、実施計画第1編第32条(保全作業を実施する場合)第1項の適用を、11月27日午後4時45分に解除した。

関連パラメータについては、異常のないことを確認した。

その後、ステップ3の試験が終了したこと、格納容器温度、および関連パラメータの安定を確認したことから、実施計画第1編第18条で定めている運転上の制限「格納容器内温度が全体的に著しい温度上昇傾向がないこと」に対する、実施計画第1編第32条(保全作業を実施する場合)第1項の適用を、11月28日午前9時10分に解除した。

- ・1号機使用済燃料プール(以下、「SFP」という)循環冷却系は、循環冷却系設備の計装品定期点検に伴い、11月27日午前から12月1日までの間、一次系の運転停止予定。
11月24日午前9時現在のSFP水温度は21.7℃であり、運転停止期間の終了時点で22.3℃と評価。(放熱を考慮)
11月27日午前9時59分、SFP循環冷却系の運転を停止。冷却停止時のSFP水温度は20.7℃。循環冷却系設備の計装品定期点検が終了したことから、12月1日午後2時15分、SFP循環冷却系の運転を再開。運転再開後のSFP水温度は24℃。運転状態について異常がないことを確認。

2号機

- ・2号機原子炉格納容器ガス管理設備については、今後の原子炉格納容器内部詳細調査における、堆積物除去及び格納容器内の干渉物除去に伴い、格納容器内のダスト飛散が懸念されるため、原子炉格納容器ガス管理設備のフィルタ出口にフィルタ付仮設局所排風機を設置することから、当該設備を停止して作業を行なう。
- ・当該設備停止中は、特定原子力施設に係る実施計画第1編第24条に定める運転上の制限「原子炉格納容器ガス管理設備の放射線検出器は1チャンネルが動作可能であること」を満足しなくなることから、特定原子力施設に係る実施計画第1編第32条(保全作業を実施する場合)第1項を適用し、計画的に運転上の制限外に移行し作業を実施する。
当該設備の停止予定日は以下のとおり。

< 停止予定 >

2月27日

- 2月27日午後0時18分より特定原子力施設に係る実施計画第1編第32条(保全作業を実施する場合)第1項を適用し作業を開始した。
- 2月27日予定していた作業が終了したことから午後1時5分に当該設備を起動した。その後、当該設備の動作確認において異常が無いこと、および短半減期核種モニタの指示値に有意な変動がないことから、午後3時40分に特定原子力施設に係る実施計画第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)の適用を解除した。なお、当該設備の停止期間における関連監視パラメータについては、異常なし。
- 2号機の原子炉注水設備において、流量調整弁取替後の注水試験を行うため、下記の予定で原子炉注水量の変更を行う。なお、注水試験中に原子炉格納容器の水位が想定した水位に到達した場合は、予定よりも早く原子炉注水量を変更させる場合がある。
 - (2月28日の原子炉注水量変更予定:1.7 m³/h→3.0 m³/h)
 - (3月1日の原子炉注水量変更予定:3.0 m³/h→1.7 m³/h)試験に伴い、一時的に3.0 m³/h~5.0 m³/hの範囲で原子炉注水量の変更を行う。2月28日午後6時12分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。
 - (2月28日の原子炉注水量変更:1.7 m³/h→3.0 m³/h)関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。
- 2号機使用済燃料プール(以下、「SFP」という)循環冷却系においては、設備改修実施に伴い、3月22日午後から4月5日までの間、一次系※の運転停止予定。当該設備については設備改修に伴い水抜きを実施したところ、作業エリアの雰囲気線量上昇が確認された。作業エリアの雰囲気線量上昇に伴い設備改修期間を延長することから、運転停止予定期間を4月12日まで延長する。停止期間終了時点でのSFP水温度を、以下の通り評価。3月20日午前9時現在のSFP水温度が約19.7℃であり、放熱を考慮し停止期間終了時点で約37.6℃と評価。3月22日午後1時53分、SFP循環冷却系の運転を停止。冷却停止時のSFP水温度は20.2℃。予定作業が終了したことから、4月12日午後5時40分、SFP循環冷却系の運転を再開。運転再開後のSFP水温度は37.9℃。運転状態について異常がないことを確認。
- ※3月22日から一次系、二次系を運転停止予定と記載しておりましたが、正しくは一次系のみ運転停止だったことから二次系の記載を削除しています。(4月5日削除)
- 2号機の原子炉注水設備においては、原子炉の冷却に必要な注水量より余裕を持った注水(1.7 m³/h)をしているが、現在の原子炉の崩壊熱を踏まえた注水量へ低減操作を下記の予定で行う。なお、現在の原子炉の崩壊熱の冷却に必要な注水量は1.0 m³/hであり、この必要な注水量に自然変動分などを考慮した注水量の1.5 m³/hへの変更のため、原子炉の冷却に問題とならない範囲での低減操作となる。
 - (4月6日の原子炉注水量変更予定:1.7 m³/h→1.5 m³/h)4月6日午後1時49分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。
 - (4月6日の原子炉注水量変更:1.7 m³/h→1.5 m³/h)引き続き、関連パラメータについて、慎重に監視する。
- 2号機の原子炉注水設備においては、季節による原子炉注水の温度変動に伴い、燃料デブ

リの冷却に必要な注水量が変わる。

今回、夏季の原子炉注水温度上昇に伴い、2号機の原子炉注水量を下記の通り変更する。

(6月29日の原子炉注水量変更予定:1.5 m³/h→1.6 m³/h)

6月29日午後3時45分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(6月29日の原子炉注水量変更:1.5 m³/h→1.6 m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視してまいる。

- 2号機使用済燃料プール(以下、「SFP」という)循環冷却系は、定期点検に伴い、10月3日午前から10月13日までの間、一次系の運転停止予定。10月2日午前9時現在のSFP水温度は約30.1℃であり、運転停止期間の終了時点で約39.1℃と評価。(放熱を考慮)10月3日午前9時47分、SFP循環冷却系の運転を停止。冷却停止時のSFP水温度は29.8℃。定期点検が終了したことから、10月13日午後0時22分、SFP循環冷却系の運転を再開。運転再開後のSFP水温度は39℃。運転状態について異常がないことを確認。
- 2号機の原子炉注水設備においては、季節による原子炉注水の温度変動に伴い、燃料デブリの冷却に必要な注水量が変わる。今回、夏季の原子炉注水温度上昇に伴い、2号機の原子炉注水量を下記の通り変更する。
 - (10月19日の原子炉注水量変更予定:1.6 m³/h→1.5 m³/h)10月19日午前10時50分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
 - (10月19日の原子炉注水量変更:1.6 m³/h→1.5 m³/h)関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視してまいる。

3号機

- 3号機の原子炉注水設備において、流量調整弁取替後の注水試験を行うため、下記の予定で原子炉注水量の変更を行う。なお、注水試験中に原子炉格納容器の水位が想定した水位に到達した場合は、予定よりも早く原子炉注水量を変更させる場合がある。
 - (2月21日の原子炉注水量変更予定:3.7 m³/h→4.0 m³/h)
 - (2月22日の原子炉注水量変更予定:4.0 m³/h→3.0 m³/h)
 - (2月24日の原子炉注水量変更予定:3.0 m³/h→3.7 m³/h)試験に伴い、一時的に3.0 m³/h~5.0 m³/hの範囲で原子炉注水量の変更を行う。3号機の原子炉注水設備においては、流量調整弁取替後の注水試験に伴い、2月21日午前10時47分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。
 - (2月21日の原子炉注水量変更:3.7 m³/h→4.0 m³/h)2月22日午前午後0時48分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。
 - (2月22日の原子炉注水量変更:4.0 m³/h→3.0 m³/h)2月24日午前11時36分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。
 - (2月24日の原子炉注水量変更:3.0 m³/h→3.7 m³/h)3月1日午後7時35分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。
 - (3月1日の原子炉注水量変更:3.0 m³/h→1.7 m³/h)関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。

- 3 号機の原子炉注水設備においては、原子炉格納容器の水位に低下傾向が見られたことから、原子炉注水量を 3.7 m³/h まで増加させ水位の傾向を監視してきた。
その後、水位は緩やかに上昇傾向が継続していることから、水位の微調整のため 3 月 10 日午前 11 時 22 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(3 月 10 日の原子炉注水量変更:3.7 m³/h→3.6 m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認。
今後も、水位の傾向を見ながら微調整のための流量調整を以下の範囲内で行う。
(3.5 m³/h±0.3 m³/h 程度)
流量調整を実施した際には、実施の都度、流量調整の実績をお知らせする。
引き続き、慎重に監視する。
- 3 号機の原子炉注水設備においては、原子炉格納容器の水位に上昇傾向が見られたことから、原子炉注水量を 3.6 m³/h まで減少させ水位の傾向を監視してきた。
その後も、水位は緩やかに上昇傾向が継続していることから、水位の微調整のため 4 月 27 日午前 10 時 32 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(4 月 27 日の原子炉注水量変更:3.6 m³/h→3.5 m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認。
今後も、水位の傾向を見ながら微調整のための流量調整を以下の範囲内で行う。
(3.5 m³/h±0.3 m³/h 程度)
流量調整を実施した際には、実施の都度、流量調整の実績をお知らせする。
引き続き、慎重に監視する。
- 3 号機の原子炉注水設備においては、原子炉格納容器の水位に上昇傾向が見られたことから、原子炉注水量を 3.5 m³/h まで減少させ水位の傾向を監視してきた。
原子炉注水量が 3.5 m³/h において、引き続き、水位は高め安定傾向にあることから、水位の微調整のため、5 月 11 日午前 11 時 45 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(5 月 11 日の原子炉注水量変更:3.5 m³/h→3.4 m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認。
今後も、水位の傾向を見ながら微調整のための流量調整を以下の範囲内で行う。
(3.5 m³/h±0.3 m³/h 程度)
流量調整を実施した際には、実施の都度、流量調整の実績をお知らせする。
引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。
- 3 号機の原子炉注水設備においては、原子炉格納容器の水位の微調整のため、原子炉注水量を 3.4 m³/h まで減少させ水位の傾向を監視してきた。
目標としていた水位に近づいてきたことから、水位を安定化させるため、5 月 31 日午後 4 時 37 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(5 月 31 日の原子炉注水量変更:3.4m³/h→3.5 m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認。
引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。
- 3 号機の原子炉注水設備においては、原子炉格納容器の水位の安定化のため、原子炉注水量を 3.5 m³/h まで増加させ傾向を監視してきた。
その後も水位にわずかな低下が見られることから、6 月 15 日午前 11 時 15 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

- (6 月 15 日の原子炉注水量変更:3.5 m³/h→3.6 m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認。
引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。
- 3 号機の原子炉注水設備においては、原子炉格納容器の水位の安定化のため、原子炉注水量を 3.6 m³/h まで増加させ傾向を監視してきた。
その後、水位にわずかな低下が見られることから、7 月 20 日午前 10 時 35 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(7 月 20 日の原子炉注水量変更:3.6 m³/h→3.7 m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認。
引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。
- 3 号機の原子炉注水設備においては、原子炉格納容器の水位の安定化のため、原子炉注水量を 3.7 m³/h まで増加させ傾向を監視してきた。
その後、水位の増加が継続していることから、8 月 7 日午前 10 時 11 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(8 月 7 日の原子炉注水量変更:3.7 m³/h→3.6 m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認。
引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。
- 3 号機の原子炉注水設備においては、原子炉格納容器の水位の安定化のため、原子炉注水量を 3.6 m³/h まで減少させ傾向を監視している。
その後、水位にわずかな低下が見られることから、9 月 1 日午前 11 時 11 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(9 月 1 日の原子炉注水量変更:3.6 m³/h→3.7 m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認している。
引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。
- 3 号機の原子炉注水設備においては、原子炉格納容器の水位の安定化のため、原子炉注水量を 3.7 m³/h まで増加させ傾向を監視している。
その後、水位にわずかな低下が見られることから、10 月 31 日午前 10 時 35 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(10 月 31 日の原子炉注水量変更:3.7 m³/h→3.8 m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認している。
引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。
- 3 号機の原子炉注水設備においては、原子炉格納容器の水位の安定化のため、原子炉注水量を 3.8 m³/h まで微調整の範囲で増加させ傾向を監視していた。
その後、水位が目標の水位に比べ低めで安定傾向となっていることから水位を増加させるため、原子炉への注水量を以下のとおり変更する。
(原子炉注水量変更予定:3.8 m³/h→4.0 m³/h)
11 月 28 日午前 10 時 9 分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(11 月 28 日の原子炉注水量変更実績:3.8 m³/h→4.0 m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認した。
今後も、水位の傾向を見ながら微調整のための流量調整を以下の範囲内で行う。
(4.0 m³/h±0.3 m³/h 程度)

流量調整を実施した際には、実施の都度、流量調整の実績をお知らせする。
引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。

4号機

現時点での特記事項なし

5号機

現時点での特記事項なし

6号機

現時点での特記事項なし

水処理装置および貯蔵設備の状況

【タンクパトロール結果】

現時点での特記事項なし

【H4, H6エアータンクにおける水漏れに関するサンプリング結果】

現時点での特記事項なし

【地下貯水槽に関する水のサンプリング結果】

現時点での特記事項なし

【セシウム除去設備】

現時点での特記事項なし

【多核種除去設備(ALPS)】

現時点での特記事項なし

【増設多核種除去設備】

現時点での特記事項なし

【高性能多核種除去設備】

現時点での特記事項なし

【淡水化装置】

現時点での特記事項なし

【RO濃縮水処理設備】

現時点での特記事項なし

【RO濃縮廃液タンク水処理設備】

現時点での特記事項なし

【その他】

現時点での特記事項なし

サブドレン他水処理施設

以下、排水実績のみ記載。

<排水実績>

- ・一時貯水タンクB 1月1日午前10時16分～午後2時58分。排水量701m³
- ・一時貯水タンクC 1月2日午前10時16分～午後2時51分。排水量682m³
- ・一時貯水タンクG 1月4日午前10時17分～午後2時7分。排水量570m³
- ・一時貯水タンクJ 1月6日午前11時3分～午後4時30分。排水量814m³
- ・一時貯水タンクA 1月8日午前9時50分～午後3時42分。排水量873m³
- ・一時貯水タンクB 1月10日午前10時34分～午後4時47分。排水量928m³
- ・一時貯水タンクD 1月12日午前11時14分～午後4時7分。排水量729m³
- ・一時貯水タンクE 1月14日午前10時24分～午後3時7分。排水量703m³
- ・一時貯水タンクF 1月16日午前10時26分～午後2時51分。排水量658m³
- ・一時貯水タンクA 1月18日午前10時27分～午後2時53分。排水量660m³
- ・一時貯水タンクB 1月20日午前11時38分～午後4時28分。排水量718m³
- ・一時貯水タンクD 1月22日午前9時57分～午後3時9分。排水量774m³
- ・一時貯水タンクE 1月25日午前11時42分～午後4時28分。排水量709m³
- ・一時貯水タンクF 1月26日午前10時35分～午後3時1分。排水量659m³
- ・一時貯水タンクA 1月28日午前11時26分～午後3時40分。排水量630m³
- ・一時貯水タンクB 1月30日午前10時28分～午後2時49分。排水量647m³
- ・一時貯水タンクD 2月2日午前10時～午後1時58分。排水量574m³
- ・一時貯水タンクC 2月3日午前10時24分～午後2時35分。排水量624m³
- ・一時貯水タンクF 2月5日午前10時19分～午後3時43分。排水量805m³
- ・一時貯水タンクA 2月7日午前10時29分～午後3時39分。排水量770m³
- ・一時貯水タンクB 2月9日午前10時11分～午後3時27分。排水量787m³
- ・一時貯水タンクD 2月11日午前10時23分～午後3時50分。排水量811m³
- ・一時貯水タンクC 2月13日午前10時57分～午後3時50分。排水量728m³
- ・一時貯水タンクJ 2月15日午前11時51分～午後4時24分。排水量677m³
- ・一時貯水タンクA 2月17日午前11時41分～午後4時。排水量644m³
- ・一時貯水タンクB 2月19日午前10時32分～午後1時59分。排水量515m³
- ・一時貯水タンクE 2月20日午前10時55分～午後2時38分。排水量552m³
- ・一時貯水タンクF 2月22日午前11時10分～午後4時2分。排水量726m³
- ・一時貯水タンクJ 2月24日午前10時25分～午後3時7分。排水量698m³
- ・一時貯水タンクG 2月26日午前10時16分～午後1時31分。排水量484m³
- ・一時貯水タンクB 2月27日午前10時25分～午後1時58分。排水量527m³
- ・一時貯水タンクD 3月1日午前10時30分～午後0時56分。排水量360m³
- ・一時貯水タンクC 3月2日午前11時19分～午後3時48分。排水量667m³
- ・一時貯水タンクJ 3月4日午前10時34分～午後3時15分。排水量697m³
- ・一時貯水タンクK 3月6日午前10時22分～午後1時43分。排水量498m³

・一時貯水タンクA 3月7日午前10時25分～午後1時52分。排水量514m³
・一時貯水タンクB 3月9日午前11時3分～午後3時24分。排水量647m³
・一時貯水タンクF 3月11日午前10時33分～午後2時57分。排水量657m³
・一時貯水タンクG 3月15日午前11時31分～午後3時45分。排水量630m³
・一時貯水タンクL 3月16日午前10時52分～午後0時43分。排水量272m³
・一時貯水タンクK 3月17日午前10時32分～午後0時28分。排水量286m³
・一時貯水タンクJ 3月18日午前10時24分～午後0時17分。排水量278m³
・一時貯水タンクE 3月20日午前10時30分～午後2時46分。排水量634m³
・一時貯水タンクB 3月21日午前11時12分～午後3時2分。排水量570m³
・一時貯水タンクA 3月22日午後0時28分～午後3時39分。排水量472m³
・一時貯水タンクG 3月24日午前10時29分～午後1時34分。排水量458m³
・一時貯水タンクJ 3月26日午前10時13分～午後1時28分。排水量484m³
・一時貯水タンクK 3月28日午前10時21分～午後2時20分。排水量594m³
・一時貯水タンクL 3月30日午前10時27分～午後1時24分。排水量437m³
・一時貯水タンクE 3月31日午前10時25分～午後2時9分。排水量555m³
・一時貯水タンクG 4月2日午前10時8分～午後3時9分。排水量747m³
・一時貯水タンクB 4月3日午前9時51分～午後0時29分。排水量389m³
・一時貯水タンクK 4月6日午前10時24分～午後1時12分。排水量418m³
・一時貯水タンクL 4月7日午前10時26分～午後4時37分。排水量923m³
・一時貯水タンクD 4月10日午前10時27分～午後2時49分。排水量652m³
・一時貯水タンクC 4月11日午前10時24分～午後5時8分。排水量1,005m³
・一時貯水タンクA 4月13日午後0時35分～午後4時59分。排水量657m³
・一時貯水タンクE 4月15日午前10時12分～午後2時48分。排水量683m³
・一時貯水タンクF 4月16日午前10時32分～午後2時39分。排水量614m³
・一時貯水タンクG 4月17日午前10時18分～午後0時53分。排水量385m³
・一時貯水タンクD 4月18日午前10時9分～午後2時52分。排水量703m³
・一時貯水タンクL 4月19日午前11時32分～午後2時6分。排水量380m³
・一時貯水タンクB 4月20日午前10時2分～午後0時30分。排水量366m³
・一時貯水タンクC 4月21日午前10時23分～午後0時48分。排水量359m³
・一時貯水タンクK 4月22日午前10時32分～午後0時41分。排水量317m³
・一時貯水タンクE 4月23日午前9時52分～午前11時46分。排水量281m³
・一時貯水タンクF 4月24日午前10時15分～午後0時12分。排水量289m³
・一時貯水タンクG 4月25日午前10時10分～午後0時28分。排水量339m³
・一時貯水タンクH 4月26日午前11時7分～午後1時37分。排水量372m³
・一時貯水タンクL 4月27日午前9時58分～午後0時33分。排水量381m³
・一時貯水タンクB 4月28日午前10時45分～午後1時15分。排水量369m³
・一時貯水タンクD 4月30日午前10時31分～午後2時39分。排水量617m³
・一時貯水タンクG 5月3日午前11時35分～午後3時27分。排水量574m³
・一時貯水タンクH 5月4日午前10時11分～午後0時18分。排水量312m³
・一時貯水タンクL 5月5日午前10時1分～午後0時59分。排水量441m³
・一時貯水タンクC 5月7日午前9時56分～午後3時48分。排水量875m³

・一時貯水タンクF 5月8日午前10時45分～午後1時42分。排水量436m³
・一時貯水タンクK 5月10日午前10時51分～午後4時18分。排水量811m³
・一時貯水タンクG 5月11日午前9時53分～午後0時9分。排水量335m³
・一時貯水タンクA 5月12日午前10時23分～午後0時26分。排水量303m³
・一時貯水タンクB 5月14日午前10時20分～午後2時24分。排水量606m³
・一時貯水タンクC 5月15日午前10時33分～午後0時35分。排水量302m³
・一時貯水タンクD 5月17日午前11時24分～午後4時9分。排水量708m³
・一時貯水タンクF 5月18日午前10時13分～午後3時23分。排水量770m³
・一時貯水タンクH 5月19日午前10時30分～午後3時25分。排水量732m³
・一時貯水タンクK 5月21日午前9時47分～午後3時10分。排水量801m³
・一時貯水タンクA 5月22日午前10時27分～午後4時。排水量827m³
・一時貯水タンクC 5月24日午前11時5分～午後4時27分。排水量799m³
・一時貯水タンクD 5月25日午前10時28分～午後3時49分。排水量798m³
・一時貯水タンクF 5月26日午前10時29分～午後3時58分。排水量818m³
・一時貯水タンクH 5月28日午前10時31分～午後5時11分。排水量996m³
・一時貯水タンクK 5月29日午前10時14分～午後4時10分。排水量885m³
・一時貯水タンクA 5月31日午前11時20分～午後4時27分。排水量764m³
・一時貯水タンクC 6月1日午前10時21分～午後3時18分。排水量738m³
・一時貯水タンクD 6月2日午前10時18分～午後1時52分。排水量531m³
・一時貯水タンクF 6月4日午前9時50分～午後4時35分。排水量1,007m³
・一時貯水タンクH 6月5日午前10時13分～午後3時6分。排水量726m³
・一時貯水タンクK 6月7日午前11時27分～午後5時51分。排水量956m³
・一時貯水タンクB 6月8日午前10時20分～午後1時29分。排水量468m³
・一時貯水タンクC 6月9日午前10時30分～午後1時48分。排水量489m³
・一時貯水タンクD 6月10日午前10時17分～午後1時37分。排水量497m³
・一時貯水タンクE 6月11日午前10時12分～午後3時9分。排水量738m³
・一時貯水タンクF 6月12日午前10時29分～午後2時13分。排水量555m³
・一時貯水タンクG 6月13日午前11時35分～午後3時11分。排水量537m³
・一時貯水タンクL 6月14日午前10時30分～午後1時49分。排水量494m³
・一時貯水タンクA 6月15日午前10時14分～午後1時26分。排水量475m³
・一時貯水タンクB 6月16日午前10時24分～午後1時32分。排水量466m³
・一時貯水タンクC 6月17日午前10時35分～午後1時59分。排水量506m³
・一時貯水タンクD 6月18日午前10時32分～午後2時34分。排水量601m³
・一時貯水タンクE 6月19日午前10時26分～午後2時13分。排水量563m³
・一時貯水タンクF 6月20日午前11時9分～午後3時19分。排水量620m³
・一時貯水タンクG 6月21日午前10時11分～午後2時35分。排水量656m³
・一時貯水タンクL 6月22日午前10時5分～午後2時33分。排水量665m³
・一時貯水タンクA 6月23日午前10時24分～午後3時50分。排水量811m³
・一時貯水タンクB 6月24日午前10時15分～午後4時36分。排水量946m³
・一時貯水タンクC 6月25日午前10時29分～午後3時38分。排水量768m³
・一時貯水タンクD 6月26日午前10時45分～午後4時10分。排水量806m³

- ・一時貯水タンクE 6月27日午前10時58分～午後4時31分。排水量826m³
- ・一時貯水タンクF 6月28日午前10時20分～午後4時43分。排水量951m³
- ・一時貯水タンクG 6月29日午前10時45分～午後4時11分。排水量810m³
- ・一時貯水タンクL 6月30日午前10時27分～午後5時19分。排水量1,023m³
- ・一時貯水タンクA 7月1日午前10時58分～午後5時37分。排水量993m³
- ・一時貯水タンクB 7月2日午前10時14分～午後4時42分。排水量963m³
- ・一時貯水タンクC 7月3日午前10時40分～午後5時3分。排水量950m³
- ・一時貯水タンクD 7月4日午前11時11分～午後4時6分。排水量732m³
- ・一時貯水タンクE 7月5日午前10時9分～午後2時14分。排水量607m³
- ・一時貯水タンクF 7月6日午前10時32分～午後2時6分。排水量530m³
- ・一時貯水タンクG 7月7日午前10時37分～午後2時9分。排水量525m³
- ・一時貯水タンクH 7月8日午前10時22分～午後2時18分。排水量587m³
- ・一時貯水タンクJ 7月9日午前10時43分～午後2時50分。排水量612m³
- ・一時貯水タンクB 7月10日午前11時14分～午後3時8分。排水量579m³
- ・一時貯水タンクC 7月11日午前10時5分～午後1時38分。排水量527m³
- ・一時貯水タンクD 7月12日午前10時1分～午後1時21分。排水量493m³
- ・一時貯水タンクE 7月13日午前10時11分～午後1時28分。排水量487m³
- ・一時貯水タンクF 7月14日午前10時22分～午後1時46分。排水量505m³
- ・一時貯水タンクG 7月15日午前10時44分～午後2時22分。排水量542m³
- ・一時貯水タンクH 7月16日午前10時22分～午後1時23分。排水量448m³
- ・一時貯水タンクJ 7月17日午後1時21分～午後4時12分。排水量423m³
- ・一時貯水タンクB 7月18日午前11時7分～午後2時18分。排水量472m³
- ・一時貯水タンクC 7月19日午前10時1分～午後1時57分。排水量584m³
- ・一時貯水タンクD 7月20日午前10時21分～午後1時46分。排水量508m³
- ・一時貯水タンクE 7月21日午前10時16分～午後3時12分。排水量734m³
- ・一時貯水タンクF 7月22日午前11時24分～午後4時14分。排水量719m³
- ・一時貯水タンクG 7月23日午前11時6分～午後3時51分。排水量706m³
- ・一時貯水タンクH 7月24日午前10時26分～午後3時20分。排水量729m³
- ・一時貯水タンクK 7月25日午前11時48分～午後4時21分。排水量675m³
- ・一時貯水タンクB 7月26日午前10時23分～午後2時42分。排水量643m³
- ・一時貯水タンクC 7月27日午前10時24分～午後2時30分。排水量610m³
- ・一時貯水タンクD 7月28日午前10時21分～午後2時56分。排水量681m³
- ・一時貯水タンクE 7月29日午前11時45分～午後3時47分。排水量600m³
- ・一時貯水タンクF 7月30日午前10時19分～午後2時24分。排水量608m³
- ・一時貯水タンクG 7月31日午前10時33分～午後2時33分。排水量594m³
- ・一時貯水タンクH 8月1日午後2時49分～午後7時。排水量623m³
- ・一時貯水タンクJ 8月2日午前9時59分～午後2時13分。排水量631m³
- ・一時貯水タンクB 8月3日午前10時7分～午後1時53分。排水量560m³
- ・一時貯水タンクC 8月4日午前10時17分～午後1時53分。排水量535m³
- ・一時貯水タンクD 8月5日午前10時35分～午後2時9分。排水量530m³
- ・一時貯水タンクF 8月7日午前10時32分～午後1時33分。排水量449m³

- ・一時貯水タンクE 8月8日午前10時55分～午後2時23分。排水量516m³
- ・一時貯水タンクL 8月9日午前10時16分～午後1時3分。排水量414m³
- ・一時貯水タンクA 8月10日午前10時23分～午後2時2分。排水量543m³
- ・一時貯水タンクH 8月11日午前10時21分～午後3時42分。排水量798m³
- ・一時貯水タンクC 8月12日午後5時34分～午後11時23分。排水量868m³
- ・一時貯水タンクD 8月13日午前10時51分～午後1時39分。排水量416m³
- ・一時貯水タンクG 8月14日午前9時51分～午後1時41分。排水量567m³
- ・一時貯水タンクF 8月15日午前10時18分～午後1時57分。排水量543m³
- ・一時貯水タンクK 8月16日午前10時43分～午後2時22分。排水量542m³
- ・一時貯水タンクL 8月17日午前9時47分～午後2時16分。排水量669m³
- ・一時貯水タンクA 8月18日午前10時15分～午後1時8分。排水量427m³
- ・一時貯水タンクH 8月19日午前11時10分～午後2時05分。排水量434m³
- ・一時貯水タンクD 8月21日午前10時30分～午後1時52分。排水量500m³
- ・一時貯水タンクE 8月22日午前10時24分～午後1時50分。排水量511m³
- ・一時貯水タンクF 8月23日午前10時18分～午後1時38分。排水量495m³
- ・一時貯水タンクK 8月24日午前9時55分～午後3時27分。排水量823m³
- ・一時貯水タンクL 8月25日午前10時25分～午後1時50分。排水量508m³
- ・一時貯水タンクA 8月26日午前10時26分～午後1時48分。排水量501m³
- ・一時貯水タンクH 8月27日午前10時9分～午後1時27分。排水量488m³
- ・一時貯水タンクC 8月28日午前10時31分～午後1時42分。排水量473m³
- ・一時貯水タンクE 8月30日午前10時6分～午後1時7分。排水量447m³
- ・一時貯水タンクK 9月1日午前10時40分～午後1時35分。排水量432m³
- ・一時貯水タンクL 9月2日午前10時10分～午後1時20分。排水量470m³
- ・一時貯水タンクA 9月3日午前10時22分～午後1時15分。排水量427m³
- ・一時貯水タンクH 9月4日午前10時21分～午後3時22分。排水量746m³
- ・一時貯水タンクC 9月5日午前11時5分～午後1時48分。排水量401m³
- ・一時貯水タンクD 9月6日午前10時5分～午後3時8分。排水量751m³
- ・一時貯水タンクE 9月7日午前10時15分～午後0時39分。排水量354m³
- ・一時貯水タンクJ 9月8日午前10時27分～午後1時45分。排水量491m³
- ・一時貯水タンクK 9月9日午前10時31分～午後1時3分。排水量377m³
- ・一時貯水タンクL 9月10日午前11時6分～午後1時37分。排水量372m³
- ・一時貯水タンクA 9月11日午後2時23分～午後4時33分。排水量321m³
- ・一時貯水タンクB 9月12日午前11時30分～午後1時53分。排水量354m³
- ・一時貯水タンクC 9月13日午前10時25分～午後2時55分。排水量670m³
- ・一時貯水タンクD 9月14日午前10時10分～午後3時16分。排水量760m³
- ・一時貯水タンクE 9月15日午前10時37分～午後4時13分。排水量834m³
- ・一時貯水タンクJ 9月16日午前10時23分～午後4時13分。排水量866m³
- ・一時貯水タンクK 9月17日午前12時14分～午後5時26分。排水量775m³
- ・一時貯水タンクL 9月18日午前10時43分～午後4時39分。排水量884m³
- ・一時貯水タンクA 9月19日午前10時36分～午後5時14分。排水量990m³
- ・一時貯水タンクF 9月19日午前11時22分～午後4時51分。排水量817m³

・一時貯水タンクB 9月20日午前10時15分～午後2時23分。排水量615m³
・一時貯水タンクG 9月20日午前10時48分～午後4時37分。排水量869m³
・一時貯水タンクC 9月21日午前11時13分～午後4時34分。排水量796m³
・一時貯水タンクD 9月22日午前10時24分～午後5時9分。排水量1,006m³
・一時貯水タンクE 9月23日午前10時28分～午後5時11分。排水量1,000m³
・一時貯水タンクJ 9月24日午前9時58分～午後3時48分。排水量869m³
・一時貯水タンクK 9月25日午前10時22分～午後3時54分。排水量824m³
・一時貯水タンクL 9月26日午前11時8分～午後4時23分。排水量782m³
・一時貯水タンクA 9月27日午前10時11分～午後3時12分。排水量748m³
・一時貯水タンクB 9月28日午前10時8分～午後2時42分。排水量681m³
・一時貯水タンクC 9月29日午前10時25分～午後3時0分。排水量682m³
・一時貯水タンクD 9月30日午前10時4分～午後2時24分。排水量644m³
・一時貯水タンクE 10月1日午前10時16分～午後1時59分。排水量553m³
・一時貯水タンクJ 10月2日午前10時28分～午後2時1分。排水量526m³
・一時貯水タンクK 10月3日午後2時14分～午後7時19分。排水量758m³
・一時貯水タンクL 10月4日午前11時2分～午後4時27分。排水量809m³
・一時貯水タンクG 10月5日午後0時11分～午後5時3分。排水量727m³
・一時貯水タンクB 10月6日午前10時33分～午後3時35分。排水量750m³
・一時貯水タンクC 10月7日午前10時32分～午後3時33分。排水量748m³
・一時貯水タンクD 10月8日午前10時10分～午後2時57分。排水量713m³
・一時貯水タンクE 10月9日午前10時39分～午後3時16分。排水量687m³
・一時貯水タンクF 10月11日午前10時4分～午後2時27分。排水量651m³
・一時貯水タンクK 10月11日午前10時27分～午後2時53分。排水量660m³
・一時貯水タンクA 10月13日午前10時39分～午後2時56分。排水量637m³
・一時貯水タンクG 10月13日午前11時6分～午後3時24分。排水量642m³
・一時貯水タンクB 10月14日午前10時19分～午後2時28分。排水量617m³
・一時貯水タンクC 10月15日午前10時11分～午後2時15分。排水量605m³
・一時貯水タンクD 10月16日午前10時38分～午後2時22分。排水量554m³
・一時貯水タンクE 10月17日午前11時8分～午後2時45分。排水量539m³
・一時貯水タンクJ 10月18日午前10時7分～午後2時8分。排水量599m³
・一時貯水タンクK 10月19日午前10時16分～午後2時43分。排水量664m³
・一時貯水タンクL 10月20日午前10時23分～午後2時40分。排水量638m³
・一時貯水タンクA 10月21日午前10時35分～午後2時45分。排水量620m³
・一時貯水タンクB 10月22日午前9時51分～午後1時47分。排水量587m³
・一時貯水タンクC 10月23日午後1時9分～午後5時3分。排水量578m³
・一時貯水タンクD 10月24日午前11時10分～午後3時34分。排水量656m³
・一時貯水タンクE 10月25日午前10時29分～午後2時55分。排水量660m³
・一時貯水タンクJ 10月26日午前10時8分～午後2時28分。排水量646m³
・一時貯水タンクK 10月27日午前10時23分～午後2時39分。排水量636m³
・一時貯水タンクL 10月28日午前10時25分～午後2時35分。排水量620m³
・一時貯水タンクA 10月29日午前11時5分～午後3時1分。排水量587m³

・一時貯水タンクB 10月30日午前10時21分～午後2時8分。排水量562m³
・一時貯水タンクC 10月31日午後1時36分～午後5時22分。排水量559m³
・一時貯水タンクD 11月1日午前11時26分～午後3時。排水量531m³
・一時貯水タンクE 11月2日午後0時42分～午後4時22分。排水量545m³
・一時貯水タンクJ 11月3日午前10時10分～午後1時52分。排水量550m³
・一時貯水タンクK 11月4日午前10時44分～午後2時26分。排水量550m³
・一時貯水タンクL 11月5日午前10時15分～午後1時52分。排水量537m³
・一時貯水タンクA 11月6日午前11時52分～午後3時20分。排水量516m³
・一時貯水タンクH 11月8日午前10時8分～午後1時39分。排水量524m³
・一時貯水タンクD 11月10日午前10時28分～午後5時13分。排水量1,005m³
・一時貯水タンクB 11月11日午前9時52分～午後1時18分。排水量510m³
・一時貯水タンクE 11月12日午前11時1分～午後5時23分。排水量951m³
・一時貯水タンクF 11月14日午前10時26分～午後4時27分。排水量896m³
・一時貯水タンクG 11月16日午前10時33分～午後4時49分。排水量933m³
・一時貯水タンクJ 11月18日午後0時17分～午後6時44分。排水量961m³
・一時貯水タンクK 11月20日午後2時6分～午後7時53分。排水量862m³
・一時貯水タンクL 11月22日午前10時33分～午後3時15分。排水量700m³
・一時貯水タンクB 11月24日午前10時9分～午後2時44分。排水量682m³
・一時貯水タンクD 11月26日午前10時21分～午後4時48分。排水量960m³
・一時貯水タンクE 11月28日午前10時35分～午後3時57分。排水量801m³
・一時貯水タンクF 11月30日午前10時29分～午後4時14分。排水量855m³
・一時貯水タンクG 12月2日午前10時46分～午後4時24分。排水量839m³
・一時貯水タンクJ 12月4日午前11時39分～午後5時2分。排水量803m³
・一時貯水タンクK 12月6日午前9時58分～午後3時50分。排水量876m³
・一時貯水タンクH 12月8日午前10時24分～午後2時49分。排水量659m³
・一時貯水タンクA 12月10日午前10時42分～午後3時18分。排水量687m³
・一時貯水タンクB 12月12日午前11時34分～午後3時31分。排水量589m³

<特記事項>

・8月12日午前5時10分に「免震棟PLC間通信異常」の警報が発生m³、免震重要棟にてサブドレン水位が監視不能となった。

監視できていないことから、午前5時21分にサブドレン設備の運用を停止した。状況は以下の通り。

・停止の状況 サブドレン設備については、通信系（水位等の制御信号の伝送）の単体故障であり、故障していた部品を交換しサブドレン水位監視の復旧を午前7時13分に確認した。

(PLC [プログラマブルロジックコントローラ：制御を行う電子部品] 間通信異常の復旧対応を実施)。

現在のサブドレン水位は通信系の故障が発生する前の水位と比べて有意な変動がないこと、サブドレンピット周辺で作業を実施し

ていなかったこと、およびサブドレン設備を直ちに停止したことから建屋の滞留水水位とサブドレン水位は、逆転していないと判断。

・外部への影響 なし

プラントパラメータ、モニタリングポスト、排水路モニタなどに異常なし。

その後、準備が整ったことから8月12日午後4時30分にサブドレン設備の運転を再開した。

なお、サブドレン水位について、建屋の滞留水水位と逆転していないことを確認。

地下水バイパス

以下、排水実績のみ記載。

<排水実績>

・一時貯留タンクグループ1	1月6日午前10時14分～午後5時7分。排水量1,878m ³
・一時貯留タンクグループ3	1月12日午前10時11分～午後4時41分。排水量1,776m ³
・一時貯留タンクグループ2	1月20日午前10時22分～午後3時54分。排水量1,522m ³
・一時貯留タンクグループ1	1月31日午前10時2分～午後4時27分。排水量1,738m ³
・一時貯留タンクグループ3	2月1日午前10時9分～午後4時50分。排水量1,811m ³
・一時貯留タンクグループ2	2月8日午前11時59分～午後6時24分。排水量1,787m ³
・一時貯留タンクグループ1	2月15日午前10時17分～午後4時43分。排水量1,755m ³
・一時貯留タンクグループ3	2月22日午前10時29分～午後4時31分。排水量1,634m ³
・一時貯留タンクグループ2	3月2日午前10時25分～午後4時8分。排水量1,574m ³
・一時貯留タンクグループ1	3月8日午前10時16分～午後3時25分。排水量1,387m ³
・一時貯留タンクグループ3	3月15日午前10時23分～午後3時20分。排水量1,337m ³
・一時貯留タンクグループ2	3月22日午前10時9分～午後3時2分。排水量1,342m ³
・一時貯留タンクグループ1	3月29日午前10時15分～午後3時12分。排水量1,301m ³
・一時貯留タンクグループ3	4月5日午前10時20分～午後3時21分。排水量1,357m ³
・一時貯留タンクグループ2	4月12日午前10時14分～午後3時25分。排水量1,424m ³
・一時貯留タンクグループ1	4月19日午前10時42分～午後3時45分。排水量1,361m ³
・一時貯留タンクグループ3	4月26日午前10時26分～午後3時31分。排水量1,378m ³
・一時貯留タンクグループ2	5月3日午前10時35分～午後3時46分。排水量1,387m ³
・一時貯留タンクグループ1	5月10日午前10時15分～午後4時29分。排水量1,710m ³
・一時貯留タンクグループ3	5月17日午前10時9分～午後4時23分。排水量1,708m ³
・一時貯留タンクグループ2	5月24日午前10時14分～午後4時22分。排水量1,701m ³
・一時貯留タンクグループ1	5月31日午前10時29分～午後4時45分。排水量1,721m ³
・一時貯留タンクグループ3	6月7日午前10時21分～午後4時28分。排水量1,673m ³
・一時貯留タンクグループ2	6月13日午前10時11分～午後3時34分。排水量1,502m ³
・一時貯留タンクグループ1	6月20日午前10時16分～午後4時33分。排水量1,713m ³
・一時貯留タンクグループ3	6月27日午前10時23分～午後4時38分。排水量1,722m ³
・一時貯留タンクグループ2	7月4日午前10時1分～午後2時38分。排水量1,279m ³

・一時貯留タンクグループ1	7月10日午前10時14分～午後5時1分。排水量1,872m ³
・一時貯留タンクグループ3	7月18日午前9時56分～午後4時32分。排水量1,828m ³
・一時貯留タンクグループ2	7月25日午前10時11分～午後4時9分。排水量1,673m ³
・一時貯留タンクグループ1	8月1日午後1時53分～午後8時24分。排水量1,806m ³
・一時貯留タンクグループ3	8月8日午前10時14分～午後4時53分。排水量1,846m ³
・一時貯留タンクグループ2	8月15日午前9時48分～午後4時12分。排水量1,772m ³
・一時貯留タンクグループ1	8月22日午前10時52分～午後5時27分。排水量1,802m ³
・一時貯留タンクグループ3	8月29日午前10時19分～午後4時31分。排水量1,709m ³
・一時貯留タンクグループ2	9月5日午前10時17分～午後4時18分。排水量1,652m ³
・一時貯留タンクグループ1	9月12日午前10時24分～午後4時24分。排水量1,650m ³
・一時貯留タンクグループ3	9月21日午前10時13分～午後4時26分。排水量1,712m ³
・一時貯留タンクグループ2	9月26日午前10時15分～午後4時54分。排水量1,796m ³
・一時貯留タンクグループ1	10月4日午前10時16分～午後4時47分。排水量1,799m ³
・一時貯留タンクグループ3	10月10日午前10時19分～午後4時54分。排水量1,799m ³
・一時貯留タンクグループ2	10月17日午前10時14分～午後4時22分。排水量1,679m ³
・一時貯留タンクグループ1	10月24日午前10時16分～午後4時18分。排水量1,643m ³
・一時貯留タンクグループ3	11月1日午前10時42分～午後4時35分。排水量1,615m ³
・一時貯留タンクグループ1	11月7日午後1時27分～午後7時19分。排水量1,585m ³
・一時貯留タンクグループ2	11月19日午前9時58分～午後4時47分。排水量1,904m ³
・一時貯留タンクグループ1	11月27日午前10時9分～午後4時19分。排水量1,687m ³
・一時貯留タンクグループ3	12月4日午前10時36分～午後4時40分。排水量1,641m ³
・一時貯留タンクグループ1	12月12日午前10時19分～午後4時53分。排水量1,757m ³

<特記事項>

*地下水バイパス貯留タンクグループ1の排水を1月25日に予定していたが、循環運転中にタンク水位に若干の上昇が見られたことから中止した。なお、原因は調査中。

地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の排水前の循環運転時に水位上昇した件について調査を行った結果、グループ1とグループ3を連結している循環ラインの入口弁のシートパスが原因であることを確認。

その後、当該弁の開閉操作を実施し再度、循環運転を行ったところ、水位に変動がないことを確認。

当該タンク水については、再度分析を行い、結果を確認したうえで排水を行う予定。

地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の当社及び第三者機関による再分析した結果、共に運用目標値を満足していたことから、1月31日に排水を実施する。

・地下水バイパス設備について、受電切り替えのため、4月27日午後3時10分から4月27日午後4時17分まで、同設備の(A)～(C)系を全停止(計画停止)。受電切り替えが終了したことから設備を復旧。

ALPS 処理水測定・確認用タンク

以下、放出実績のみ記載。

<放出実績>

- ALPS 処理水測定確認用タンク B 群
8 月 24 日午後 1 時 3 分～9 月 11 日午後 0 時 15 分。 放出量 7,788m³
- ALPS 処理水測定確認用タンク C 群
10 月 5 日午前 10 時 18 分～10 月 23 日午後 0 時 8 分。 放出量 7,810m³
- ALPS 処理水測定確認用タンク A 群
11 月 2 日午前 10 時 21 分～11 月 20 日午後 0 時 1 分。 放出量約 7,753m³

【1～4号機サブドレン観測井のサンプリング結果】

<特記事項>

現時点での特記事項なし

【1号機放水路のサンプリング結果】

<特記事項>

現時点での特記事項無し

その他

【陸側遮水壁】

現時点での特記事項なし

【雑固体廃棄物焼却設備】

現時点での特記事項なし

【増設雑固体廃棄物焼却設備】

現時点での特記事項なし

【窒素封入設備】

現時点での特記事項なし

【その他設備の不具合・トラブル】

現時点での特記事項なし

【けが人・体調不良者等】

•1 月 15 日午前 1 時 10 分頃、発電所構内において、パトロール中の協力企業作業員が階段を踏み外して左足を負傷した。入退域管理棟救急医療室にて、「左足関節部骨折の疑い」と診断され、1 月 16 日、医療機関にて「左足関節三果骨折」と診断され手術を行う予定であり、休業を要する災害と判断したため、お知らせする。

状況は以下のとおり。

- 発生場所 : 発電所構内 6 号機原子炉建屋(屋外)
- 負傷者の所属 : 協力企業作業員
- 身体汚染の有無: なし
- 発生状況 : パトロール中階段を踏み外し負傷

•3 月 13 日、スラッジヤード重機置き場において、負傷者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたため、午後 9 時 58 分、救急車を要請した。

状況は以下のとおり。

- 発生時刻 : 3 月 13 日午後 8 時 47 分頃
- 発生場所 : 発電所構内 スラッジヤード重機置き場
- 負傷者の所属 : 協力企業作業員
- 身体汚染の有無: なし
- 発生状況 : 作業中、重機キャタピラー部(高さ 1.5m程度)より転落し、足及び腰を負傷した。意識あり、自力歩行困難

当該負傷者は、救急車でふたば医療センターに到着した。

- 入退域管理棟救急医療室の退出時刻: 3 月 13 日午後 10 時 19 分
- 救急車出発時刻 : 3 月 13 日午後 10 時 30 分
- 救急車到着時刻 : 3 月 13 日午後 10 時 45 分

その後、当該負傷者は、ふたば医療センターにて診断の結果、腰椎骨折と診断され、入院が必要と判断。

•6 月 10 日午後 1 時 8 分頃、構内休憩所(情報棟)において、協力企業作業員の方に体調不良者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたため、午後 2 時 22 分、救急車を要請。

状況は以下のとおり。

- 身体汚染の有無 : なし
- 発生状況 : 休憩所で、体調不良を訴えた
- 診断結果 : 脱水症と急性胃腸炎

当該体調不良者は、救急車でふたば医療センターに搬送。

- 救急車出発時刻 : 午後 2 時 46 分
- 救急車到着時刻 : 午後 2 時 58 分

その後、当該体調不良者については、ふたば医療センターにて医師の診断の結果、入院が必要と判断。

なお、個人の疾病であり、病名等は控える。

•6 月 12 日午前 9 時 50 分頃、発電所構内において、負傷者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたため、午前 10 時 23 分、救急車を要請。

状況は以下のとおり。

- 負傷者の所属 : 協力企業作業員
 - 身体汚染の有無: なし
 - 発生状況 : 仮設資材荷下ろし時、資機材の間に右手小指を挟み負傷した。
- 当該負傷者は、救急車でいわき市医療センターに到着。
- 救急車出発時刻: 午前 10 時 55 分
 - 救急車到着時刻: 午前 11 時 40 分

その後、当該負傷者については、いわき市医療センターにて医師の診断の結果、右小指末節骨開放骨折と診断され、通院加療が必要と判断。

・12月11日午後2時42分頃、2号機原子炉建屋西側構台前室で除染作業を実施していた協力企業作業員1名の鼻腔スミアで汚染が確認され、内部取り込みの可能性を確認。

汚染状況: 鼻腔内の汚染検査で汚染検出(バックグラウンド約60cpm)
約1,000cpm(ベータ線)

汚染箇所: 顔面

午後4時28分、顔面を除染したことにより退域基準(4Bq/cm²)未滿を満したため、管理対象区域を退域している。また、入退域管理棟救急医療室の医師による問診により異常なしと診断され、午後4時36分に入退域管理棟救急医療室を退室した。

なお、内部被ばく線量の評価については今後実施する。

【その他】

・地下水(1~4号機護岸、H4・H6タンクエリア周辺、地下貯水槽周辺、地下水バイパス)、排水路、海水(港湾内、港湾外、1~4号機取水口内)、魚介類、海藻類等の分析結果について、一部のデータ(護岸地下水観測孔 分析結果(1/2)護岸地下水 地下水観測孔 No. 1-16 トリチウム)が、至近の分析結果と比較して上昇しております。なお、海側遮水壁の外側の海水分析結果に有意な変動は見られておりません。

・昨日(2023年4月15日)お知らせした、地下水(1~4号機護岸、H4・H6タンクエリア周辺、地下貯水槽周辺、地下水バイパス)、排水路、海水(港湾内、港湾外、1~4号機取水口内)、魚介類、海藻類等の分析結果について、一部のデータ(護岸地下水観測孔 分析結果(1/2)護岸地下水 地下水観測孔 No. 1-16 トリチウム)が、至近の分析結果と比較して上昇した件について、その後の状況は下記の通りです。

同護岸地下水観測孔(4月15日採取)の分析結果は、4月14日採取より前の分析結果と同程度であることを確認しております。

また、周辺の護岸地下水観測孔(4月14日採取)のトリチウム分析結果は、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんした。

なお、至近のプラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、異常は確認されておりません。

引き続き、護岸地下水観測孔周辺の監視を行ってまいります。

・4月17日午前2時25分頃、福島県沖を震源とする地震(マグニチュード4.6)が発生。

(双葉町:震度3、大熊町:震度4、楡葉町:震度4、富岡町:震度3)

発電所内で観測された地震加速度の最大値は、6号機原子炉建屋基礎マットにおいて、水平:11.8ガル、垂直:10.6ガル。

プラント状況は以下の通り。

- ・モニタリングポスト指示値: 有意な変動なし
- ・発電所敷地境界ダストモニタ指示値: 有意な変動なし
- ・原子炉注水設備(1, 2, 3号機): 運転継続

・使用済燃料プール冷却設備(1, 2, 5, 6号機, 共用プール): 運転継続
※3, 4号機は地震発生前から使用済燃料を取り出し済み

・陸側遮水壁設備: 運転継続

・外部電源(大熊線3L, 4L): 異常なし

・外部電源(双葉線1L, 2L): 異常なし

・1~6号機設備プラントパラメータ: 異常なし

・滞留水移送設備・水処理設備パラメータ: 異常なし

・排気筒モニタの指示値: 有意な変動なし

・構内ダストモニタ指示値: 有意な変動なし

・構内線量表示器指示値: 有意な変動なし

・構内排水路モニタ: 有意な変動なし

・海水放射線モニタ指示値: 地震発生前から点検中

地震後のパトロールを実施した結果、各設備に異常がないことを確認。

また、本地震によるけが人の発生は確認されていない。

・2023年8月8日、地下水(1~4号機護岸、H4・H6タンクエリア周辺、地下貯水槽周辺、地下水バイパス)、排水路、海水(港湾内、港湾外、1~4号機取水口内)、魚介類、海藻類等の分析を実施した結果、地下貯水槽(漏えい検知孔水)南西側において、至近の分析結果と比較して上昇。その他の採取地点の分析結果は、至近の分析結果と比較して有意な変動なし。

・(9月3日追記)地下貯水槽(漏えい検知孔水)南西側において、8月7日採取分の分析結果より上昇が継続していることを確認。なお、当該地下貯水槽の漏えい検知孔の外側にあるドレン孔や地下貯水槽周辺観測孔などについては、至近の分析結果と比較して有意な変動は確認されていない。また、当該地下貯水槽の水位に変動は確認されていない。引き続き、地下貯水槽周辺の監視を行う。

・地下水(1~4号機護岸、H4・H6タンクエリア周辺、地下貯水槽周辺、地下水バイパス)、排水路、海水(港湾内、港湾外、1~4号機取水口内)、魚介類、海藻類等の分析結果について、一部のデータ(護岸地下水観測孔 分析結果(1/2)護岸地下水 地下水観測孔No.1-9 全ベータ放射能)が、至近の分析結果と比較して上昇している。なお、海側遮水壁の外側の海水分析結果に有意な変動は見られてない。

・10月25日午前11時10分頃、増設ALPSのクロスフローフィルタ出口配管(吸着塔手前)の洗浄を行っていた協力企業作業員5名に、配管洗浄水またはミストが飛散した。このうち協力企業作業員1名の全面マスクに汚染が確認され、またAPD(β線)の鳴動を確認。

今後、汚染の状況確認および除染を実施する。

同日、身体汚染の可能性があると連絡があった協力企業作業員5名のうち1名は身体汚染が確認されておらず、身体汚染があった作業員4名のうち2名は除染が完了しているが、残り2名については現在も身体汚染が残っている。なお、作業員5名の鼻腔スミヤを行ったところ、

内部取り込みは確認されなかった。身体汚染が残っている2名については、汚染レベルは下がってきているが、退出基準(4Bq/cm²)以下までの構内での除染は困難であると午後7時23分に判断し、福島県立医科大学附属病院へ搬送。なお、救急医療室の医師の診断の結果、放射線障害による熱傷の可能性は低いと判断。

午後10時25分に福島県立医科大学附属病院に到着し、医師の受診と除染を開始。その後、医師の判断により除染の継続ならびに経過観察のため入院。なお、汚染部位の皮膚への外傷は確認されていない。

入院していた2名の協力企業作業員については、10月28日退院しています。なお、元請企業によると、現時点で2名の協力企業作業員の体調面に問題はなく、汚染部位の皮膚に特に異常は確認されていません。

・地下水(1～4号機護岸、H4・H6タンクエリア周辺、地下貯水槽周辺、地下水バイパス)、排水路、海水(港湾内、港湾外、1～4号機取水口内)、魚介類、海藻類等の分析結果について、一部のデータ(護岸地下水観測孔 分析結果(1/2)護岸地下水 地下水観測孔No.0-2 Cs-137)が、至近の分析結果と比較して上昇している。なお、海側遮水壁の外側の海水分析結果に有意な変動は見られてない。